

日本のジオパークにおける「地球科学」—複数領域を横断するジオストーリーの重要性—  
**Geoscience in Japanese Geoparks: Significance of Multidisciplinary and Interdisciplinary Geostories**

尾方 隆幸<sup>1\*</sup>  
OGATA, Takayuki<sup>1\*</sup>

<sup>1</sup> 琉球大学教育学部

<sup>1</sup> Faculty of Education, University of the Ryukyus

ジオパークは、地球科学のすべての領域を対象にするものであり、とりわけ領域どうしのつながりを重視すべきである。実際、日本地球惑星科学連合大会でも、ジオパークに関する議論は「パブリックセッション」および「領域外・複数領域セッション」で行われている。日本地球惑星科学連合の場合、学術セッションを「宇宙惑星科学」「大気水圏科学」「地球人間圏科学」「固体地球科学」「地球生命科学」の5つの領域に区分している。これらの領域を基準に、すべての日本ジオパークのウェブサイトを定量的・定性的に調査したところ、取り上げられているテーマが特定の領域に偏っており、複数領域を横断するジオストーリーに乏しい傾向が認められた。なかでも、自然地理学に関する内容が十分に扱われていないジオパークが多い。大気圏・水圏・地圏のさまざまな現象について、それらの相互作用に着目しながらシームレスに自然環境の実態を解明する自然地理学は、ジオパークに欠かせない学問領域である。今後、すべての日本ジオパークで自然地理学的な視点が重視されることを期待したい。

キーワード: ジオパーク, ジオストーリー, 地球科学, 自然地理学, 日本ジオパークネットワーク, 日本地球惑星科学連合  
Keywords: geoparks, geostory, geoscience, physical geography, Japanese Geoparks Network, Japan Geoscience Union